

2050ゼロカーボンシティまにわに向けて

真庭市は、2050年二酸化炭素排出実質ゼロに向けた取り組みを進めています。

自然再生エネルギーでゼロカーボン

【目指すべき方向性】

- ・豊富な森林資源を活用した自然再生エネルギー自給率100%のまちをつくります。
- ・再生可能な森づくりと木材産業クラスター構築により環境と経済の両立を図ります。

【R2年度実施予定事業】

- ・スマート林業による森林資源の効率的利用によるCO₂固定能力の最大化
- ・地域マイクログリッドによる地域分散型エネルギー供給システム構築
- ・広葉樹のバイオマス利用による循環利用の推進
- ・持続可能な林業・木材産業経営の実現に向けた検討会開催



スマートムーブでゼロカーボン

【目指すべき方向性】

- ・EV等エコカーへの転換を図ります。
- ・環境負荷の低い公共交通網をつくります。
- ・日常の移動や観光での自転車活用を図り、エコで健康なまちづくりを進めます。

【R2年度実施予定事業】

- ・EV等エコカーを活用した過疎地域交通実証の開始
地域の足PHEV実証、グリーンスローモビリティ実証
- ・バイオマス発電所にEVステーション設置
- ・りんくるライン沿線に自転車ステーション設置



食と農でゼロカーボン

【目指すべき方向性】

- ・地産地消でフードマイレージを低減します。
- ・森川里海の連携で、人と自然の共生する農業を実現します。
- ・スマート農業技術をフル活用して、農業による環境負荷を軽減します。

【R2年度実施予定事業】

- ・真庭里海米の給食利用による地産地消・環境教育の推進(真庭食材の日)
- ・スマート農業の普及による減農薬・減化学肥料栽培の推進
- ・生ごみ等資源化施設の事業推進と農業利用の拡大



くらしのなかでゼロカーボン

【目指すべき方向性】

- ・省エネ製品や脱プラスチック製品等環境負荷の少ない製品の購買を促進します。
- ・事業・生活でのモノの効率的な利用(シェア)を進めます。

【R2年度実施予定事業】

- ・「COOL CHOICE(買い選択)」推進事業などによるエシカル消費の意識啓発
- ・マイボトルスポット、マイバックスポットの設置



2050
ゼロカーボン
シティ
まにわ



木を活かしてゼロカーボン

【目指すべき方向性】

- ・真庭の山を守り、育て、木を活かします。
- ・木について学ぶ場をつくり、木を活かす人を育てます。

【R2年度実施予定事業】

- ・CLTによる木造大規模建築の普及と建築士の育成
- ・都市部の消費者に真庭の木材・木製品をPR
- ・林業から木造建築までを一貫して学ぶ教育・研究施設の設置を岡山大学と検討



ゼロカーボンでおもてなし

【目指すべき方向性】

- ・西日本有数の観光地・蒜山高原をSDGsに沿った国立公園にします。
- ・「住んでよし、訪れてよし」の持続可能な観光地域づくりを進めます。

【R2年度実施予定事業】

- ・隈研吾氏設計のCLT建築物の移築とエコ・ビジターセンターの設置



- ・蒜山自然再生協議会(仮称)の設立を契機としたエコツーリズムの推進
- ・サステナブルをテーマとした蒜山ブランドの構築

※二酸化炭素排出実質ゼロ：CO₂などの温室効果ガスの人為的な発生源による排出量と森林などの吸収源による除去量の均衡を達成すること